



ポータブルIC オーディオプレーヤー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

XDM-S900/S990



安全のために

この製品は安全に充分配慮して設計されています。

しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあります。危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

5~7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

1年に1度は、ほこりがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら



- ① 電池を抜く
- ② お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターに修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

△ 危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

△ 警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

△ 注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

付属のソフトウェアについて

- 権利者の許諾を得ることなく、本機に付属のソフトウェアおよび取扱説明書の内容の全部または一部を複製すること、およびソフトウェアを賃貸することは、著作権法上禁止されています。
- 本機に付属のソフトウェアを使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益、および第三者からのいかなる請求等につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 万一、製造上の原因による不良がありましたらお取り替えいたします。それ以外の責はご容赦ください。
- 本機に付属のソフトウェアは、指定された装置以外には使用できません。
- 本機に付属のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本機に付属していないソフトウェアを使用した際の動作は保証しておりません。
- 以下の理由により、一部の文字や記号がSonicStageまたはMP3 File Manager上で正しく表示されない場合があります。
 - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーの性能。
 - パソコンに接続しているポータブルプレーヤーが正常に動作していない。
 - 曲のID3タグの情報が、ポータブルプレーヤーでサポートされていない言語や記号で書かれている。

Program © 2001, 2002, 2003, 2004 Sony Corporation

Documentation © 2004 Sony Corporation

- OpenMG およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- SonicStage およびそのロゴはソニー株式会社の登録商標です。
- ATRAC, ATRAC3, ATRAC3plusおよびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate”（マジックゲート）およびそのロゴはソニー株式会社の商標です。
- Microsoft, Windows および Windows Media は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標、または商標です。
- その他、本書で登場するシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では™、®マークは明記していません。

目次

△危険・△警告・△注意	5
こんなことができます	8
本機の主な特長	9
準備1：付属品を確かめる	10
準備2：電池を挿入する	11
各部のなまえ	12
本体	12
表示部	13

基本的な使いかた

パソコンから本機に音楽を転送する	14
本機で音楽を聞く	16
グループ機能とは	17
その他の操作	17

進んだ使いかた

リピートモード	18
リピートモードを選択する	18
曲を繰り返し再生する (トラックリピート)	19
曲の一部を繰り返し再生する (A-Bリピート)	19
トラックの指定ポイントのセンテンスを 繰り返し再生する (センテンスリピート)	20
リピート回数を設定する	21
表示モードを切り換える	22
グループ表示を見るには	23
高音や低音を強調する (デジタルサウンド プリセット)	23
音質を選ぶ	23
音質を変える	24
誤操作を防ぐ (ホールド)	25
音楽以外の情報を持ち運ぶ	25

ラジオ

ラジオを聞く	26
放送局を記憶させる	27

この取扱説明書では、ポータブルICオーディオプレーヤー本体の操作について説明しています。付属の SonicStage ソフトウェアについては別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

本体の設定を変える

パソコンの内蔵時計に本体の時計を 合わせる	28
現在時刻を設定する (DATE-TIME)	29
音もれを抑える (音量リミット-AVLS)	30
お好みの音量を設定する (プリセット ボリューム)	31
プリセットモードの音量を設定する	31
マニュアルモードに戻すには	32
ピッという確認音を鳴らさないようにする (BEEP)	32
液晶バックライトの点灯のしかたを変える	33
オペレーションランプの点灯パターンを 変える	34
設定時間後に電源を切る(TIMER)	35

その他の機能

音楽データを再グループ化する (REGROUP) -XDM-S900のみ	36
メモリーを初期化する (FORMAT)	37

その他

使用上のご注意	38
ご注意	38
お手入れについて	38
故障かな?と思ったら	39
リセットするには	39
こんなときは	39
こんな表示が出たら	42
保証書とアフターサービス	44
主な仕様	45
用語解説	46
メニュー一覧	47

MP3 File Managerを使う

MP3 File Managerとは	48
パソコンから本機にMP3ファイルを 転送する	48
MP3 File Managerの表示	50
ファイルを消去する	51
曲順を変える	51
索引	52

危険



火災

破裂

発熱、発火、破裂などを避けるため、必ず下記の注意事項をお守りください。

火の中に入れない



禁止

分解しない

感電の原因となります。内部の点検および修理は
お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談セン
ターにご依頼ください。



分解禁止



火のそばや炎天下などで放置しない



禁止

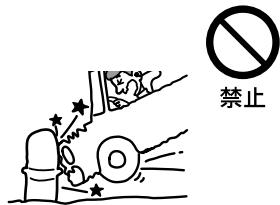
⚠ 警告



下記の注意事項を守らないと火災・感電により大けがの原因となります。

運転中は使用しない

- 自動車、オートバイ、自転車などの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。

万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。



⚠ 注意

下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

大音量で長時間続けて聞くすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにはご注意ください。呼びかけられて返事ができるぐらいの音量で聞きましょう。



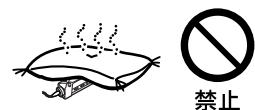
はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることができます。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くときにはご注意ください。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

△ 危険 乾電池が液漏れしたとき

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない。

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

△ 警告

- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、ただちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの貴金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使いきった電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。

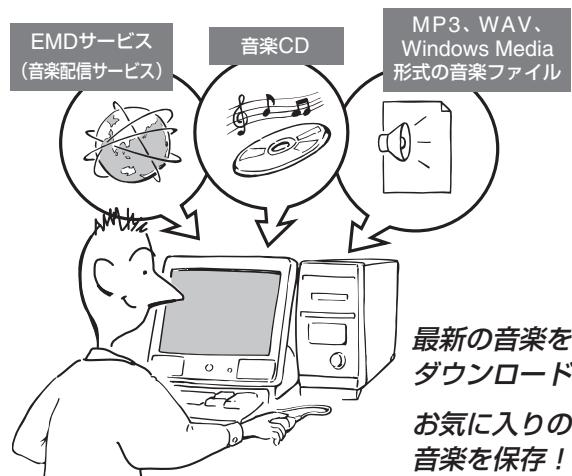
△ 注意

- 火のそばや直射日光のあるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり、傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

こんなことができます

最初に付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールします。
(「MP3 File Managerソフトウェア」は、本機にプリインストールされています。) パソコンのハードディスクに保存した音楽データを本機内蔵のフラッシュメモリーに転送することで、お好みの音楽データを手軽に持ち運んで楽しめます。

1 パソコンに 音楽を保存



2 ポータブルICオーディオプレーヤーに 転送



3 音楽を持ち出して 聞こう！

本機内蔵のフラッシュメモリーに保存されている音楽データは、Windowsのエクスプローラでも表示できます。ただし、Windowsのエクスプローラを使って本機のフラッシュメモリーにコピーしたMP3ファイルを、本機で再生することはできません。MP3ファイルを本機に転送するときは、必ずMP3 File Managerをお使いください。



本機の主な特長

- ・小型軽量サイズで、振動にも強く、優れた携帯性。
- ・本機にあらかじめインストールされているMP3 File Managerを使用して、MP3ファイルを転送して再生。
- ・アルカリ乾電池で約100時間^{*1}の連続再生。
- ・XDM-S900：512MBの内蔵フラッシュメモリーに23時間20分以上^{*2}の音楽データの記録が可能。
- ・XDM-S990：512MB+512MBの内蔵フラッシュメモリーに46時間40分以上^{*2}の音楽データの記録が可能。
- ・付属の専用ソフトウェアSonicStageを使って、音楽CDを高音質・高圧縮のATRAC3plus形式でパソコンのハードディスクに録音。
- ・外国語の学習にも役立つセンテンスリピート機能。
- ・パソコンと本体は専用USBケーブルで接続、データを高速転送。
- ・漢字も表示できるバックライト付き液晶ディスプレイ。
パソコンで入力した曲名などを漢字でも表示可能。
- ・アルバム単位で再生する曲を選べるグループ機能。
- ・FMチューナー内蔵で、音楽データの再生のほかラジオ(FM)を聞くことも可能。
- ・設定した時間後に本機の電源を自動的に切ることができるタイマー機能。
- ・音楽以外のデータも記録可能なストレージ機能。

^{*1} 再生する曲のデータ形式により異なります。ATRAC3形式で記録された曲を再生した場合。

^{*2} 記録時のビットレートにより異なります。ATRAC3plus形式で48kbpsで記録した場合。

ご注意

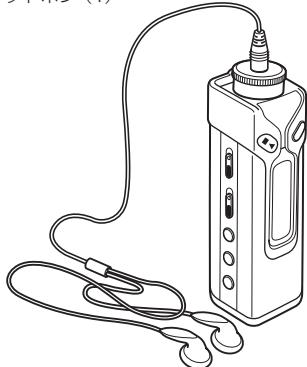
- ・あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。
- ・本製品およびパソコンの不具合により、録音やダウンロードができなかった場合および音楽データが破損または消去された場合、データの内容の補償については、ご容赦ください。

準備1：付属品を確かめる

箱から出したら、付属品がそろっているか確認してください。

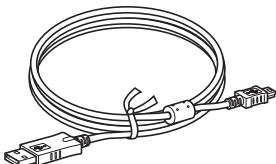
XDM-S900/S990

- ポータブルICオーディオプレーヤー本体(1)
- ヘッドホン (1)



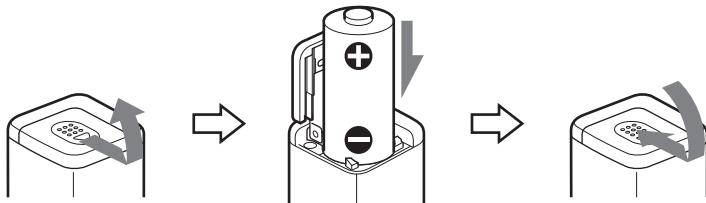
- キャリングポーチ (1)
- ネックストラップ (1)
- ヘッドホン延長コード (1)
- CD-ROM (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソフトウェアインストール・操作ガイド (1)
- 保証書 (1)
- アイワご相談窓口のご案内 (1)

- 専用USB接続ケーブル (1)



準備2：電池を挿入する

単3形アルカリ乾電池1本を下図のように●側から入れてください。



電池の持続時間(連続再生時)※

ATRAC3形式の場合：約100時間

ATRAC3plus形式の場合：約90時間

MP3形式の場合：約80時間

ラジオ(FM)受信時：約40時間

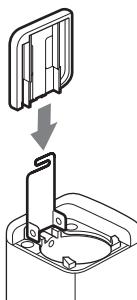
※周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間
は異なる場合があります。

電池残量の表示について

ご使用中、表示窓(13ページ)の電池残量表示でお
知らせします。



電池残量が
少なくなり
ました。
再生できま
せん。電池
を交換して
ください。



「LOW BATT」と表示された場合は、新しいアルカ
リ電池に交換してください。

ご注意

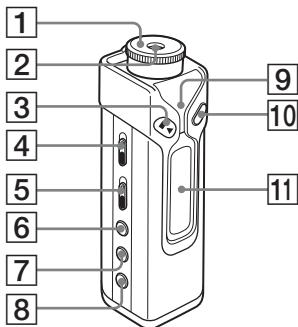
- 本体の電源が入らないときは、一度乾電池を取り出し、しばらく時間を置いてから再度入れ直してください。
- 指定された種類以外の電池をご使用の場合、液もある原因になります。次の事項を必ずお守りください。
 - アルカリ乾電池をお使いください。
 - 機器の表示に合わせて+と-を正しく入れてください。
 - 充電しないでください。
 - 長期間使用しないときは、取り外してください。
 - 液もれが起ったときは、電池入れについた液をよくふき取ってから新しい電池を入れてください。

各部のなまえ

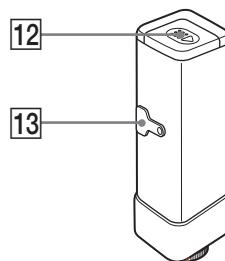
() 内のページに詳しい説明があります。

本体

表面



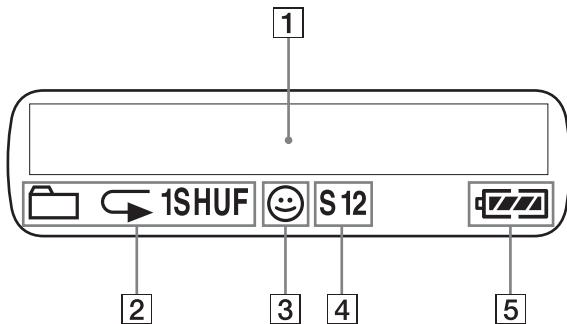
裏面



- 1** シャトルスイッチ(◀◀/▶▶)、
VOL(音量)+/- (16~22、24、26~37
ページ)
- 2** ヘッドホンジャック (16ページ)
- 3** ▶■(再生/停止)ボタン (16、18~22、
24、26~37ページ)
- 4** HOLD (誤操作防止)スイッチ (25ページ)
- 5** RADIO ON/OFFスイッチ (16~18、21
~24、26~28、36~37ページ)
- 6** SOUNDボタン (23ページ)
- 7** GROUP/TUNE MODEボタン (17、
23、27ページ)
- 8** REPEATボタン (19~21ページ)
- 9** アクセスランプ (14、48ページ)
オレンジ色のランプが点滅します。
オペレーションランプ (34ページ)
緑色のランプが点灯/点滅します。
- 10** MENUボタン (18、21~22、24、26~
37ページ)

- 11** 表示部 (13、17、19、22ページ)
- 12** 電池挿入部 (11ページ)
- 13** 専用USBケーブル接続ジャック (14、48
ページ)

表示部



- 1** 文字情報／グラフィック液晶表示窓
(19ページ)
曲番号やタイトルなどの表示や、時計表示
(28~29ページ)、エラー表示 (15, 42~
43ページ)、メニュー表示などを表示しま
す。再生・停止中の表示内容はMENUボタ
ンで切り換えられます。
詳しくは、「表示モードを切り換える」
(22ページ) をご覧ください。
- 2** リピートモード表示 (18~19ページ)
現在のリピートモードのアイコンが表示さ
れます。
- 3** エーピイエルエス
AVLS 表示 (30ページ)
AVLS (音量リミット)が設定されている場
合に表示されます。
- 4** デジタルサウンドプリセット表示
(23ページ)
デジタルサウンドプリセットが設定されて
いる場合に表示されます。
- 5** 電池残量表示 (11ページ)
現在の電池残量が表示されます。

パソコンから本機に音楽を転送する

ご注意

本機を初めてパソコンに接続するときは

接続前に、必ず付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールしてください。すでにSonicStageがインストールされている場合でも、必ず付属の「SonicStageソフトウェア」をインストールしてから本機をパソコンに接続してください。(アップデートプログラムが入っている場合があります。)

ATRAC3、ATRAC3plusファイルはパソコンにインストールしたSonicStageを使い、下記の指示にしたがって本機に転送します。

MP3ファイルはあらかじめ本機にインストールされているMP3 File Managerを使って本機に転送します。詳しくは「MP3 File Managerを使う」(48ページ)をご覧ください。

1 付属のCD-ROMから「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールする

手順1は、本機を初めてパソコンに接続するときのみ必要です。

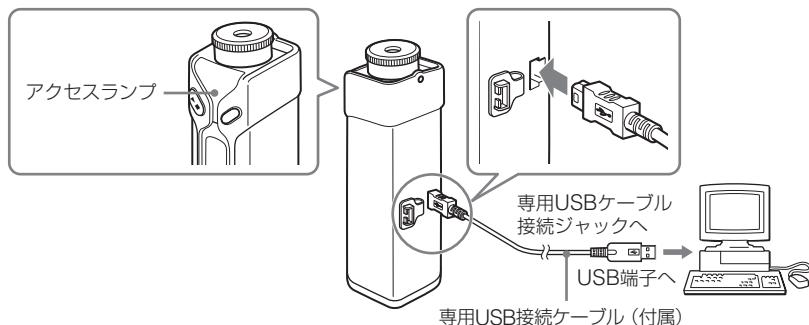
詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

2 SonicStageに音楽データを取り込む

詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

3 本機をパソコンに接続する

付属の専用USB接続ケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブル接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



ご注意

- ・本機とパソコンのデータ転送中はアクセスランプがオレンジ色に点滅します。
- ・アクセスランプの点滅中はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- ・USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- ・同時に使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- ・パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- ・パソコンに接続しているときは、内蔵フラッシュメモリーの内容がWindowsのエクスプローラでも表示できます。

4 本機に音楽データを転送する

本体内蔵フラッシュメモリーに音楽データを転送するときの操作方法は、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。

♪ヒント

- ・XDM-S990にはフラッシュメモリーが2つ内蔵されているため、音楽データを転送するときに、転送先の内蔵フラッシュメモリーを選ぶことができます。転送先の内蔵フラッシュメモリーは、SonicStageの画面上で以下のように表示されます。
 - Portable IC Audio Player (#1): 内蔵フラッシュメモリー1
 - Portable IC Audio Player (#2): 内蔵フラッシュメモリー2
- ・転送した音楽データをパソコンに戻す方法についても、別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」もしくはSonicStageのオンラインヘルプをご覧ください。

再生期限付きの曲（タイムアウトコンテンツ）の再生について

インターネットの音楽配信サービス（EMDサービス）には、再生期限がついているものがあります。

期限切れ後にその曲を再生しようとすると、「EXPIRED」が点滅し、しばらくすると次の曲が再生されます。

再生期限が過ぎた曲は、SonicStage上でも再生はできません。また、本機への転送もできません。必要に応じて曲を削除してください。

回数制限付きの曲の再生について

本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。

回数制限の権利が残っていた場合でも、「EXPIRED」が点滅し、本機での再生はできません。

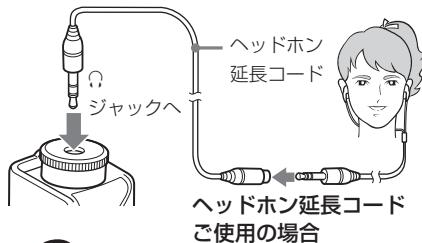
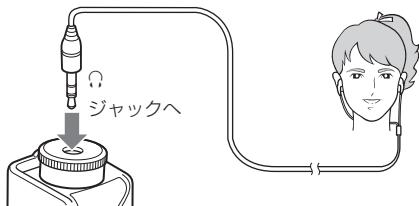
本機で音楽を聞く

あらかじめ本機に電池を入れておいてください(使用できる電池や挿入方法については11ページをご覧ください)。そして、音楽データを本機の内蔵フラッシュメモリーに転送しておきます。

ご注意

本機を操作するときは、パソコンとの接続をはずしてください。

1 ヘッドホンを装着する



2 ラジオを消す

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。



再生が始まらないときは
ホールド

HOLD(誤操作防止)スイッチが解除されているのを確認してください。(25ページ)

再生を途中で止めるには

▶■(再生／停止)ボタンを押します。

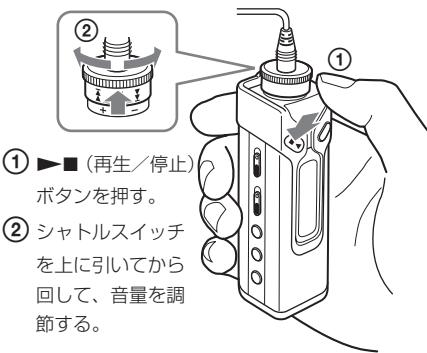
音量を調節するには

音量はプリセットとマニュアルで調整できます。
(31~32ページ)

♪ヒント

停止状態のまま5秒間操作がないと、自動的に表示が消えます。

3 再生する



曲(グループ)の再生順序について(XDM-S990のみ)

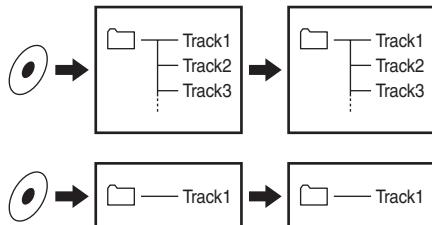
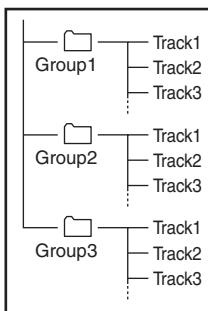
本機に転送した曲(グループ)の再生順は、以下のようになります。

SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲(グループ)→MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲(グループ)→SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲(グループ)→MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲(グループ)

通常再生のときは、最後まで再生すると自動的に停止します。

グループ機能とは

グループ機能とは、聞きたい曲を素早く見つけるための機能です。転送される曲を、CDアルバム別や、アーティスト別などのグループにまとめて転送したり再生したりできます。



- 再生時の曲番は、グループ内での曲番が表示されます。
- GROUP/TUNE MODEボタンを押すと、曲名モードからグループモードの切り換えができます。
- グループモードでは、曲名ではなくグループ名が表示され、曲送りや曲のリピートなどの単位もグループ単位で送られます。

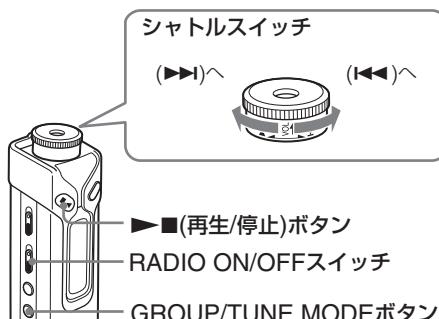
グループ単位での転送

SonicStageに取り込んだ音楽データは、1曲でも必ずグループをつくり、本機の内蔵フラッシュメモリーに転送されます。

♪ヒント

本機では、SonicStageで作成されたグループとMP3 File Managerで作成されたグループが存在する場合、SonicStageで作成されたグループを優先します。

その他の操作



♪ヒント

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFにしてGROUP/TUNE MODEボタンを押すと、グループモードに入れます。

こんなときは

次の曲の頭出し、または (▶▶) へ1回短く回す
次のグループの最初の曲の頭出し*1

再生中の曲の頭出し、または再生中のグループの最初の曲の頭出し*1

早送り*2 (▶▶) へ回し、止めたい場所で手をはなす

早戻し*2 (◀◀) へ回し、止めたい場所で手をはなす

シャトルスイッチ操作

次の曲の頭出し、または (▶▶) へ1回短く回す
次のグループの最初の曲の頭出し*1

再生中の曲の頭出し、または再生中のグループの最初の曲の頭出し*1

早送り*2 (▶▶) へ回し、止めたい場所で手をはなす

早戻し*2 (◀◀) へ回し、止めたい場所で手をはなす

*1 停止中にシャトルスイッチを (▶▶) (◀◀) へ回した状態にしておくと、次の曲またはグループ（現在の曲またはグループ）、さらに次の曲またはグループ（前の曲またはグループ）を連続して頭出しができます。

*2 早送り／早戻しを開始してから5秒経過すると、早送り／早戻しの速度がより高速になります。

リピートモード

トラックリピート、A-Bリピート、センテンスリピートの3通りのリピートモードがあります。

• トラックリピート (TRK Rep)

曲を下記の5通りのリピートモードで再生できます。

トラックリピート 動作 モード

全曲リピート*1	すべての曲が繰り返して再生されます。
1曲リピート	1曲が繰り返して再生されます。
グループリピート	グループ内の曲が繰り返して再生されます。
グループシャッフルリピート	グループ内の曲が順不同に繰り返し再生されます。
全グループシャッフルリピート*2	すべてのグループが順不同に繰り返し再生されます。グループ内の曲は、順序どおり再生されます。

• A-Bリピート (A-B Rep)

曲の一部を繰り返して再生します。

• センテンスリピート (SENTENCE Rep)

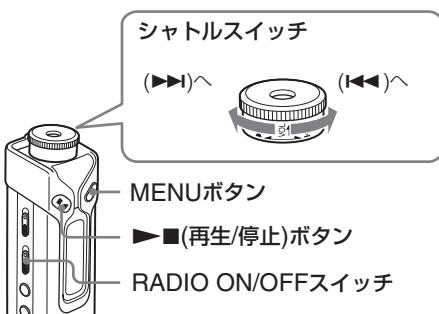
トラックの指定ポイントのボイスデータ(センテンス)を繰り返して再生します。

*1 全曲のリピート順は以下のようになります。
(XDM-S990のみ)

SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲→MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー1の曲→SonicStageソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲→MP3 File Managerソフトウェアで転送した内蔵フラッシュメモリー2の曲

*2 全グループシャッフルリピートでは、2つの内蔵フラッシュメモリー内のすべてのグループが対象になります。(XDM-S990のみ)

リピートモードを選択する



1 ラジオを消す。

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 停止中にMENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

 REPEATMODE>

3 シャトルスイッチを回して「REPEAT MODE>」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押しで決定する。

4 シャトルスイッチを回してお好みのリピートモードを選び、▶■(再生/停止)ボタンを押しで決定する。

 TRK Rep

「TRK Rep」、「A-B Rep」、「SENTENCE Rep」の中からリピートモードを選ぶことができます。

5 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

各リピートモードについて詳しくは下記をご覧ください。

- TRK Rep: 「曲を繰り返し再生する (トラックリピート)」
- A-B Rep: 「曲の一部を繰り返し再生する (A-B リピート)」
- SENTENCE Rep: 「トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する (センテンスリピート)」

途中でメニュー操作をやめるには

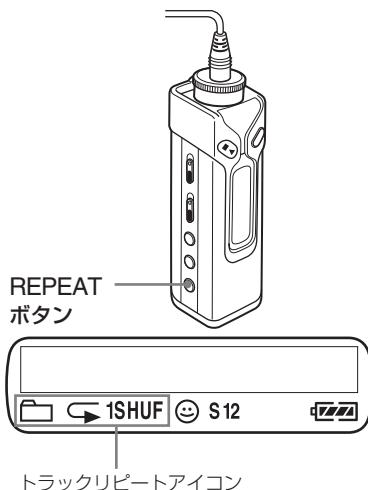
メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタンを押します。

ご注意

- 60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。
- 曲が1曲も入っていない場合は、リピートモードの設定はできません。
- 本機をパソコンに接続すると、設定したリピートモードはキャンセルされます。
- 曲の再生中、リピートモードの設定はできません。

曲を繰り返し再生する (トラックリピート)

REPEATボタンを押すごとにトラックリピートモードの種類が切り換わります。表示窓に現在選択しているトラックリピートモードのアイコンが表示されます。

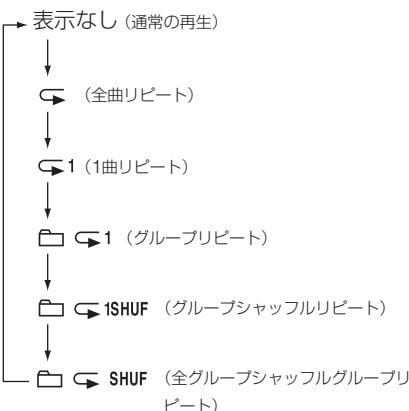


トラックリピートモード (TRK Rep)

を選択する。(18ページ)

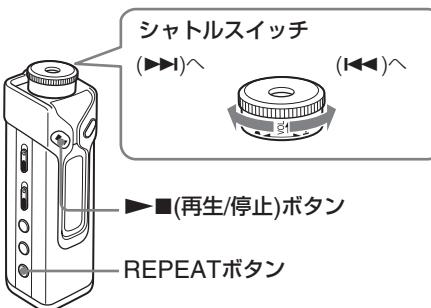
次に、REPEATボタンを繰り返し押し、設定したいリピートモードを選択する。

ボタンを押すごとに、トラックリピートアイコンが次のように換わります。



曲の一部を繰り返し再生する (A-Bリピート)

曲の再生中、繰り返し再生したい部分 (セクション) の開始ポイント (A) と終了ポイント (B) を設定できます。



- 1 A-Bリピートモード (A-B Rep) を選択する。(18ページ)

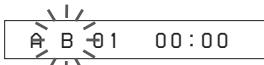
- 2 ▶■ (再生/停止) ボタンを押して曲を再生する。

次ページへつづく

リピートモード(つづき)

3 曲の再生中にREPEATボタンを押して開始ポイント(A)を決定する。

「B」が点滅します。



4 REPEATボタンを押して終了ポイント(B)を決定する。

「A B」が表示され、指定した部分(セクション)が繰り返し再生されます。

A B 01 00:55

ご注意

- 1曲を超える長さのセクションは設定できません。
- 終了ポイント(B)が設定されていない場合は、自動的に曲の最後が終了ポイント(B)になります。
- グループモード、または現在時刻が表示されているときは、A-Bリピートモードは使用できません。

♪ヒント

開始ポイント(A)の設定後、シャトルスイッチを回して、早送りや早戻しをすることができます。早送りで曲の最後まで来ると、曲の終わりが終了ポイント(B)として設定され、早送りが続きます。

シャトルスイッチを離すとA-Bリピートが再開されます。

また、早戻し中に曲の頭まで来ると、曲の最後へ移動し、曲の終わりが終了ポイント(B)として設定され、早戻しが続きます。

開始ポイント(A)や終了ポイント(B)を消すには

- A-Bリピート中にREPEATボタンを押す。
- A-Bリピート中にMENUボタンを押す。
- A-Bリピート中にGROUP/TUNE MODEボタンを押してグループモードを選ぶ。
- A-Bリピート中にシャトルスイッチを回して次の／前の曲を選ぶ。

(A-Bリピートモードは取り消されません。)

A-Bリピートモードを取り消すには

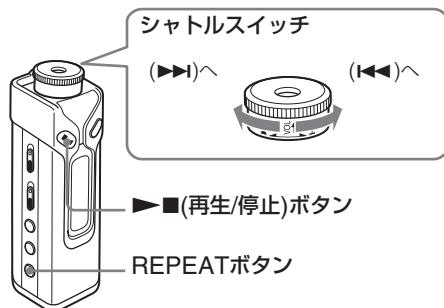
メニュー モードに入り、リピートモードを変更します。(18ページ)

トラックの指定ポイントのセンテンスを繰り返し再生する(センテンスリピート)

指定ポイントからボイスデータ(センテンス)のみを自動的に検知し、設定回数を繰り返し再生します。外国語の学習に役立ちます。

♪ヒント

初期設定では、センテンスごとにリピート回数が2回に設定されています。リピート回数を変更するには、「リピート回数を設定する」(21ページ)をご覧ください。



1 センテンスリピートモード(SENTENCE Rep)を選択する。(18ページ)

2 ▶■(再生／停止)ボタンを押して曲を再生する。

3 曲の再生中にREPEATボタンを押して開始ポイントを指定する。

開始ポイントから検索が始まり、ボイスデータ(センテンス)がある部分とボイスデータ(センテンス)がない部分を検知すると、センテンスリピートが開始されます。ボイスデータ(センテンス)は、1回(検知中) + 設定回数ぶん(21ページ)だけ繰り返されます。

G 01 00:12

ご注意

- ・グループモード、または現在時刻が表示されているときは、センテンスリピートモードは使用できません。
- ・ボイスデータ（センテンス）がある部分またはボイスデータ（センテンス）がない部分の長さが1秒以下の場合は、検知されません。
- ・ボイスデータ（センテンス）がない部分がトラックの最後まで検索されなかった場合、トラックの最後が終了ポイントとみなされて、開始ポイントからトラックの最後までの間でセンテンスリピートが行われます。

指定ポイントを消すには

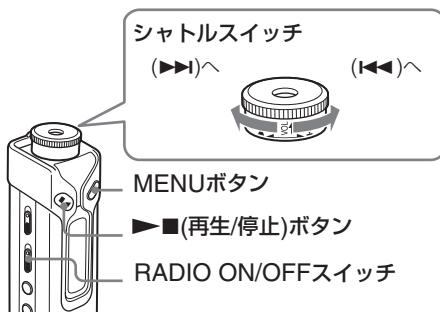
- ・センテンスリピート中にREPEATボタンを押す。
- ・センテンスリピート中にMENUボタンを押す。
- ・センテンスリピート中にGROUP/TUNE MODEボタンを押してグループモードを選ぶ。
- ・センテンスリピート中にシャトルスイッチを回して次の／前の曲を選ぶ。
(センテンスリピートモードは取り消されません。)

センテンスリピートモードを取り消すには

メニュー画面に入り、リピートモードを変更します。(18ページ)

リピート回数を設定する

センテンスリピートモードのリピート回数は、1～9回まで設定できます。

**1 ラジオを消す。**

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

**3 シャトルスイッチを回して**

「REPEAT MODE>」を選び、
▶■(再生／停止)ボタンを押し
て決定する。

4 シャトルスイッチを回して

「SENTENCE Rep」を選び、
▶■(再生／停止)ボタンを押し
て決定する。

「COUNT:」が表示窓に表示されます。

**5 シャトルスイッチを回してお好**

みの回数を選び、▶■(再生／
停止)ボタンを押し決定する。

6 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の[RETURN]を選びかMENUボタンを押します。

表示モードを切り換える

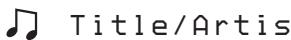
再生中または停止中に表示窓で曲番やタイトルなどの情報を確認できます。表示内容の切り換えは、メニュー modeに入り、シャトルスイッチで操作します。

- Lap Time : 曲時間表示モード
タイトル、アーティスト名を表示した後、次のように表示します。



- * 再生中 : と を交互に表示。
停止中 : を表示。
連続頭出し中 : または を表示。
早送り／早戻し中 : または を表示。

- Title : タイトル表示モード
タイトルとアーティスト名が表示されます。
12 文字を超える場合は、スクロールします。



- Track info : トラックインフォメーション表示モード
タイトル、コーデック、ビットレートが表示されます。
12 文字を超える場合は、スクロールします。



早送り／早戻し中および連続頭出し中は現在の位置を表す表示が出ます。



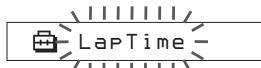
- 1 ラジオを消す。
RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

- 2 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。



- 3 シャトルスイッチを回して「DISPLAY>」を選び、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定する。

設定されている表示モードが点滅表示されます。



- 4 シャトルスイッチを回して好みの表示モードを選び、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定する。

表示モードメニューに切り換わります。



- 5 MENUボタンを押す。
通常の再生画面に戻ります。

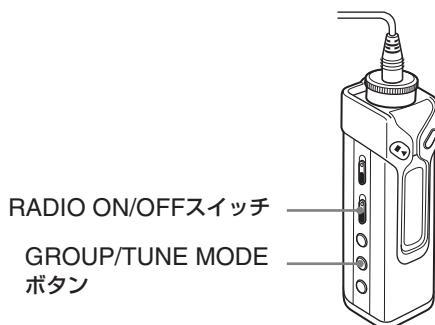
途中でメニュー操作をやめるには
メニュー画面の [RETURN] を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

60秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

グループ表示を見るには

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFにして GROUP/TUNE MODEボタンを押すと、グループ表示を見ることができます。

**グループ表示をやめるには**

GROUP/TUNE MODEボタンを押します。

♪ヒント

グループモードのときは、バックライトが緑色になります、その他のモードのときは、バックライトが青になります。(バックライトの設定が「ON」のとき(33ページ))

ご注意

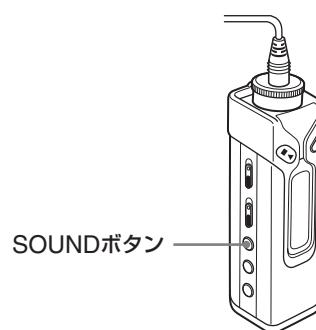
再生中に30秒以上ボタン操作をしないと、通常の再生画面に戻ります。

**高音や低音を強調する
(デジタルサウンドプリセット)**

高音や低音を強調してあらかじめお好みの音質を設定できます。2種類の音質設定を記憶させることができます、再生中に設定を選びます。

音質を選ぶ**お買い上げ時の設定**

音質	SOUND 1 (S1)	SOUND 2 (S2)	SOUND OFF (通常の音質)
Bass (低音)	+1	+3	±0
Treble (高音)	±0	±0	±0



SOUNDボタンを繰り返し押して
「S1」または「S2」を選ぶ。

S1 → S2 → 表示なし
↑

通常の音質に戻すには
「SOUND OFF」を選びます。

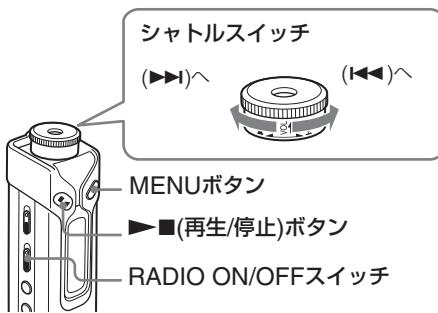
高音や低音を強調する（デジタルサウンドプリセット）（つづき）

音質を変える

Treble（高音）とBass（低音）の2つの音質調整ができます。

音質	数値の設定
Bass（低音）	-4 から +3
Treble（高音）	-4 から +3

「SOUND 1」、「SOUND 2」にお好みの設定を記憶できます。音楽データの再生時に、記憶させた設定で楽しめます。



1 ラジオを消す。

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

曲 REPEAT MODE >

3 シャトルスイッチを回して「SOUND >」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

曲 SOUND: 2 >

4 「SOUND 1」の音質を設定する。

- ① シャトルスイッチを回して「SOUND 1 >」を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
- ② 「BASS : +1」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Bassの値を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。
- ③ 「TREBLE : 0」と表示されたら、シャトルスイッチを回し、Trebleの値を選び、▶■（再生／停止）ボタンを押して決定する。

5 MENUボタンを押す。

通常の再生画面に戻ります。

「SOUND 2」の設定を変えるには手順4の①で「SOUND 2 >」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

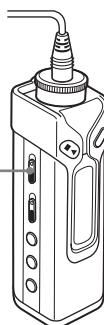
メニュー画面の [RETURN] を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

RADIO ON/OFFスイッチがONになっているときは、デジタルサウンドプリセットの設定はできません。

誤操作を防ぐ (ホールド)

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されて動作するのを防ぎます。



HOLDスイッチを→の方向にずらす。

RADIO ON/OFFスイッチ以外の、すべての操作ボタンが働かなくなります。

ホールド中に他のボタンを押すと、表示窓に「HOLD」と点滅表示します。

ホールドを解除するには

HOLDスイッチを→の逆方向にずらします。

ご注意

RADIO ON/OFFスイッチにホールド機能を働かせることはできません。

音楽以外の情報を 持ち運ぶ

パソコンのハードディスク内のデータをWindowsのエクスプローラを使って、本機内蔵フラッシュメモリーに取り込むことができます。

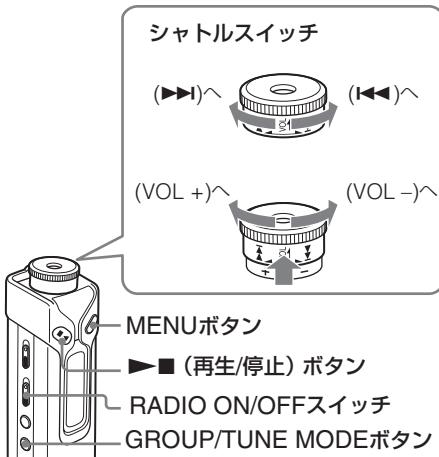
Windowsのエクスプローラの外部ドライブ(Dドライブなど)として、本機内蔵フラッシュメモリーが表示されます。

ご注意

- 本機内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外の大容量データが入っている場合、音楽データを取り込むための空き容量はその分減ります。
- XDM-S990にはフラッシュメモリーが2つ内蔵されています。そのため、本機をパソコンに接続すると、Windowsのエクスプローラ上に2つの外部ドライブとして表示されます。ドライブ文字(アルファベット)の順番が先の外部ドライブが内蔵フラッシュメモリー1、あとのが外部ドライブが内蔵フラッシュメモリー2になります。

ラジオを聞く

FM放送とテレビ放送（1～3チャンネル）を聞くことができます。ステレオ音声で受信できます。



- 1** RADIO ON/OFFスイッチをRADIO ONの方向にすらして、ラジオの電源を入れる。

FM 76.00MHz

- 2** GROUP/TUNE MODEボタンを押してマニュアル受信モードを選ぶ。

詳しくはこのページのヒントをご覧ください。

- 3** シャトルスイッチを回して放送局を受信する。

シャトルスイッチを回した状態にしておくと、受信できる放送局を自動的に受信して止まります。受信できなかつたときは、シャトルスイッチを繰り返し回して、聞きたい局の周波数に合わせます。

ラジオを消すには

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にすらします。

放送の雑音を減らすには

FMステレオ放送の雑音が多いときは、音声をモノラルに切り換えると聞きやすくなります。

- 1 RADIO ON/OFFスイッチをRADIO ONの方向にすらして、ラジオの電源を入れる。
- 2 MENUボタンを押す。
「FM SOUND」が表示されます。
- 3 ▶■(再生/停止)ボタンを押す。
- 4 シャトルスイッチを回して「FM SOUND: MONO」を選ぶ。
- 5 ▶■(再生/停止)ボタンを押す。

ステレオ音声に戻すには

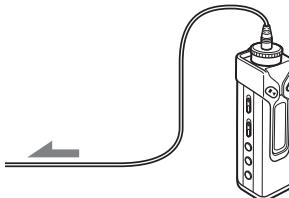
手順4で「FM SOUND: STEREO」を選びます。

音量を調節するには

シャトルスイッチを上に引いてから回します。

より良く受信するには

ヘッドホンのコードがアンテナとして働きます。コードができるだけのばしてお使いください。



♪ヒント

本機のラジオ受信モードには、マニュアル受信モードとプリセット受信モードの2種類があります。マニュアル受信モードでは、このページの手順のように手動で放送局を受信できます。

プリセット受信モードでは、受信状態の良い放送局を記憶させ、記憶させた番号(プリセット番号)でその局を選んで受信します。(放送局を記憶させる方法については27ページをご覧ください。)

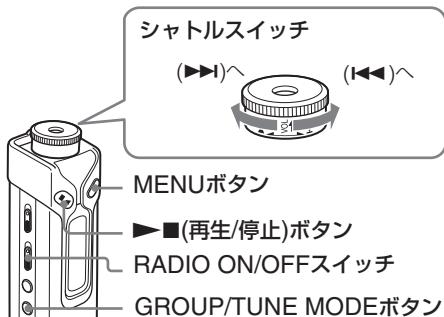
マニュアル受信モードとプリセット受信モードを切り換えるには、GROUP/TUNE MODEボタンを押します。

プリセット受信モードのときは、表示窓の右端にプリセット番号が表示されます。

また、マニュアル受信モードのときは、表示窓のバックライトが青になり、プリセット受信モードのときは、バックライトが緑色になります。(バックライトの設定が「ON」のとき(33ページ))

放送局を記憶させる

最大30局まで記憶させることができます。



自動的に記憶させる(オートプリセット)

- 1 RADIO ON/OFFスイッチを RADIO ONの方向にずらして、ラジオの電源を入れる。
- 2 MENUボタンを押す。
- 3 シャトルスイッチを回して「FM AUTO PRESET」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押す。
- 4 シャトルスイッチを回して「FM RUN」を選び。
- 5 ▶■(再生/停止)ボタンを押す。周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局のチェックが始まります。



プリセット番号の1番から順に、周波数の低い局から高い局へ受信状態の良い局が自動的に記憶されます。

放送局のチェック中に▶■(再生/停止)ボタンを押すと、放送局のチェックは停止し、オートプリセットモードが終了します。

手動で放送局を記憶させるには(マニュアルプリセット)

放送局を自動的に記憶できなかったときは、手動で記憶させます。

操作の前に、マニュアル受信モード(表示窓にプリセット番号が表示されていない状態)になっていることを確認してください。

- 1 マニュアル受信モードに切り換え、記憶させたい放送局を受信する(26ページのヒント参照)。
- 2 ▶■(再生/停止)ボタンを2秒以上押し続ける。表示窓の右端に、プリセット番号が点滅します。
- 3 30秒以内にシャトルスイッチを回して記憶させたいプリセット番号を選ぶ。プリセット番号を点滅させます。
- 4 ▶■(再生/停止)ボタンを押す。

記憶させた放送局を聞くには

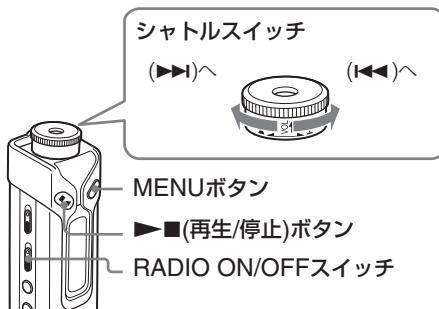
- 1 RADIO ON/OFFスイッチを RADIO ONの方向にずらして、ラジオの電源を入れる。
- 2 GROUP/TUNE MODEボタンを押してプリセット受信モードに切り換える(26ページのヒント参照)。プリセット番号が、表示窓の右端に表示されます。
- 3 シャトルスイッチを回して記憶させた局のプリセット番号を選ぶ。

パソコンの内蔵時計に 本体の時計を合わせる

設定を「ON」にしていると、本機をパソコンに接続して、データ転送が行われたときに SonicStageからパソコンの内蔵時計に合わせて自動で本機の時計の設定ができます。初期設定は「ON」になっています。

再生期限付きの曲の場合、本機の時計設定をしていないと再生できませんので、必ず現在時刻を設定してください。

ポータブルICオーディオプレーヤー本体で時刻を設定するには「現在時刻を設定する(DATE-TIME)」(29ページ)をご覧ください。



設定を「OFF」にする

パソコンに接続してもパソコンの内蔵時計に合わせないようになります。

1 ラジオを消す。

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



3 シャトルスイッチを回して 「PC CLK:」を選び、▶■ (再生/停止) ボタンを押して決定する。



4 シャトルスイッチを回して
「OFF」を選び、▶■ (再生/停止) ボタンを押して決定する。

5 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

設定を「ON」にするには

手順4で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

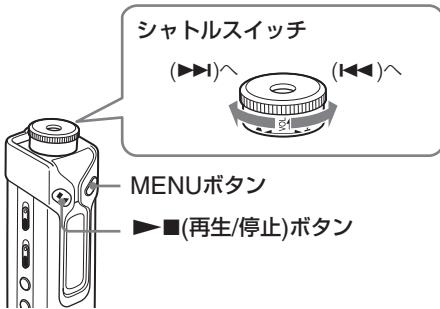
メニュー画面の「RETURN」を選びか、MENUボタンを押します。

現在時刻を設定する (DATE-TIME)

本体の現在時刻を設定し、時計を表示させることができます。

パソコンに接続して自動でパソコンの時刻情報を本機に設定することもできます。

(28ページ)



- 1** MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEAT MODE >

- 2** シャトルスイッチを回して
「DATE-TIME」を選び、▶■
(再生／停止)ボタンを押して決定する。
「年」の数字が点滅します。

2004 1m 1d

- 3** シャトルスイッチを回して「年」
の数字を合わせ、▶■(再生／
停止)ボタンを押して決定する。
「月」の数字が点滅します。

2004 1m 1d

- 4** 手順3で「年」を入力したのと同様に「月」と「日」の数字を入力する。
シャトルスイッチを回して「日」を合わせ、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定すると、時刻設定表示画面に変わります。

1:00 am

- 5** シャトルスイッチを回して「時」
の数字を合わせ、▶■(再生／
停止)ボタンを押して決定する。
「分」の数字が点滅します。

1:00 am

- 6** 手順5で「時」を入力したのと同様に「分」を入力する。

シャトルスイッチを回して「分」を合わせ、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定します。

DATE-TIME

- 7** MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選びか、MENUボタンを押します。

時計を表示させるには

MENUボタンを押し続けます。

押している間だけ現在時刻が表示されます。

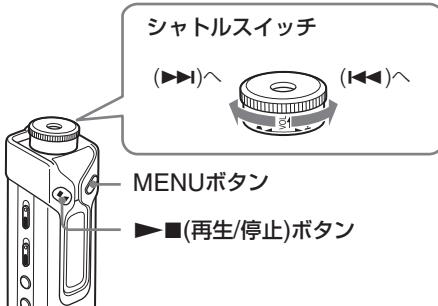
タイマーが働いているときは、現在時刻が表示される前にタイマーが働くまでの時間(分)が表示されます。

ご注意

- 本機を使用しないまま長期間放置すると、設定した日時がリセットされてしましますのでご注意ください。
- 時刻が設定されていないときは、年月日、時刻とも「-- --」が表示されます。
- PC CLKを「ON」に設定していると(28ページ)パソコン接続時に自動的にパソコンの内蔵時刻に書きかわってしまいます。

音もれを抑える(音量リミット-AVLS)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。



- 1 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEAT MODE>
- 2 シャトルスイッチを回して
「AVLS」を選び、▶■(再生／
停止)ボタンを押して決定する。
「OFF」が点滅します。

- 3 シャトルスイッチを回して
「ON」を選び、▶■(再生／停
止)ボタンを押して決定する。
表示窓に(?)が表示されます。この設定
により、音量が一定のレベル以上、上が
らなくなります。
- 4 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

手順3で「OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

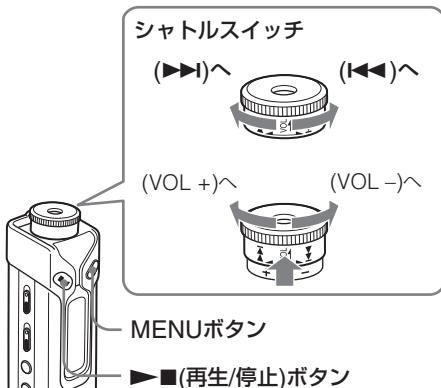
メニュー画面の [RETURN] を選ぶかMENUボタ
ンを押します。

お好みの音量を設定する(プリセットボリューム)

音量調節には2つのモードがあります。

マニュアルモード：シャトルスイッチを上に引いてから回すと32段階で連続して音量が変わります。

プリセットモード：シャトルスイッチを回すとあらかじめ設定しておいたLO、MID、HIの3段階に切り換わります。



プリセットモードの音量を設定する

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

REPEATMODE>

2 シャトルスイッチを回して「VOL : MAN」を表示させる。

VOL : MAN

3 ▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「MAN」が点滅します。

4 シャトルスイッチを回して「SET>」を表示させる。

VOL SET>

5 ▶■(再生/停止)ボタンを押しで決定する。

「VOL LO xx」*が点滅します。

* xxは数値

VOL LO xx

6 LO、MID、HIの各値を設定する。

- ① シャトルスイッチを上に引いてから回してLOの値を設定する。
- ② シャトルスイッチを元の位置に戻してから回して「VOL MID xx」を表示させ、シャトルスイッチを上に引いてから回してMIDの値を設定する。
- ③ シャトルスイッチを元の位置に戻してから回して「VOL HI xx」を表示させ、シャトルスイッチを上に引いてから回してHIの値を設定する。

7 ▶■(再生/停止)ボタンを押しで決定する。

8 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。
この設定によりボリュームがLO、MID、HIの3段階に調節できるようになります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選ぶか、MENUボタンを押します。

ご注意

AVLS (30ページ) が設定されているときは、設定した値よりも音量が低くなる場合があります。
AVLSを解除(OFF)すると設定した値の音量になります。

次ページへつづく

お好みの音量を設定する(プリセットボリューム)(つづき)

マニュアルモードに戻すには

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

2 シャトルスイッチを回して「VOL : SET」を表示させる。



3 ▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「SET>」が点滅します。

4 シャトルスイッチを回して「MAN」を表示させる。



5 ▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

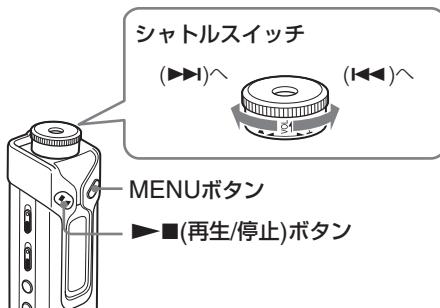
6 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

この設定によりシャトルスイッチによる手動の音量調節ができるようになります。

ピッという確認音を鳴らさないようにする(BEEP)

本体の確認音を消すことができます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「BEEP :」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「ON」が点滅します。



3 シャトルスイッチを回して「OFF」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。



4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

確認音が鳴るようにするには

手順3で「ON」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選びか、MENUボタンを押します。

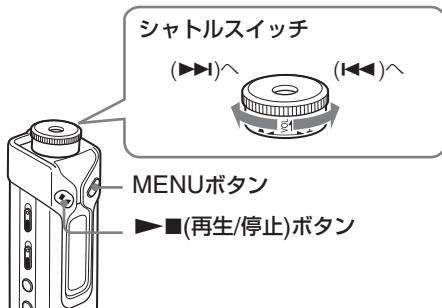
液晶バックライトの点灯のしかたを変える

ONまたはOFFから選べます。

メニュー設定 液晶バックライトの状態

OFF 常に消灯

ON ボタン操作後、3秒間点灯（またはスクロール終了まで点灯）



設定を「ON」にする

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



2 シャトルスイッチを回して「LIGHT:」を選び、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定する。

「OFF」が点滅します。



3 シャトルスイッチを回して「ON」を選び、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定する。



4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

設定を「OFF」にするには

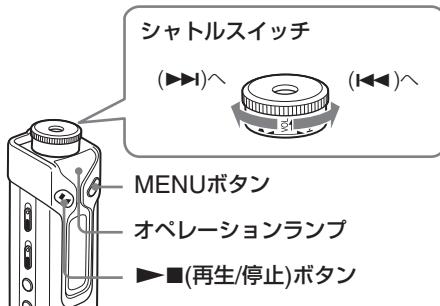
手順3で「LIGHT:OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選びか、MENUボタンを押します。

オペレーションランプの点灯パターンを変える

オペレーションランプの点滅/点灯パターンの設定を変更することができます。3種類の設定またはOFFの中から選べます。「OFF」にすると、オペレーションランプは常に消灯した状態になります。



4 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の[RETURN]を選びか、MENUボタンを押します。

1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

 REPEAT MODE >

2 シャトルスイッチを回して「LED:」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「LED:」が点滅します。

 LED : L1

3 シャトルスイッチを回して以下のいずれかを選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「LED: L1 (ボタン操作に連動して点滅)」

「LED: L2 (常に点滅)」

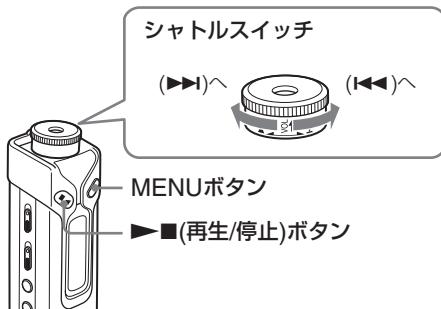
「LED: L3 (常に点灯)」

「LED: OFF (常に消灯)」

 LED : L1

設定時間後に電源を切る(TIMER)

指定した時間が経過すると再生が停止し、自動的に電源が切れます。



1 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。

 REPEAT MODE >

2 シャトルスイッチを回して「TIMER:」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

「OFF」が点滅します。

 TIMER 

3 シャトルスイッチを回して「TIMER: ON」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

4 シャトルスイッチを回して電源が切れるまでの時間(分) (「TIMER: 30」、「60」、「90」、「120」または「10」)を選び、 ▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

 TIMER 

5 MENUボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

電源が切れるまでの時間を確認するには
MENUボタンを押し続けます。

タイマーを解除するには

手順3で「TIMER: OFF」を選びます。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の[RETURN]を選びか、MENUボタンを押します。

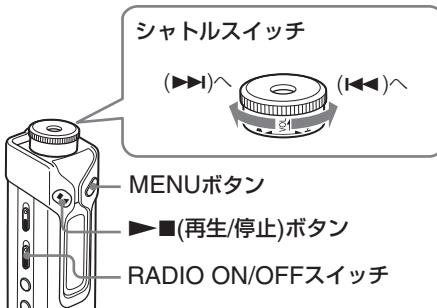
♪ヒント

タイマーが働いているときは、オペレーションランプが緑色に点滅します。(オペレーションランプの点灯パターンを「OFF」に設定しても点滅します。)

音楽データを再グループ化する (REGROUP) -XDM-S900のみ

SonicStageをインストールした (14ページ) パソコン以外で内蔵フラッシュメモリーの音楽データの一部を消去または追加して本機でお使いになる場合、音楽データがグループとして機能しなくなることがあります*。再グループ化の操作をすると、グループ機能を元に戻せる場合があります。必要な編集はパソコンにつないでSonicStage上でおこなってください。

* 音楽データがグループのくくりからはずれても、曲順は変わりません。



1 ラジオを消す。
RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 MENUボタンを押す。
メニュー画面が表示されます。

REPEAT MODE >

3 シャトルスイッチを回して「REGROUP」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。

REGROUP : - N -

4 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、▶■(再生/停止)ボタンを押して決定する。
「Really?」と表示されます。

Really?

5 ▶■(再生/停止)ボタンを押し決定する。
再グループ化が実行されます。実行中は「REGROUPING」が点滅します。再グループ化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順3の画面に戻ります。

6 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の「RETURN」を選びか、MENUボタンを押します。

ご注意

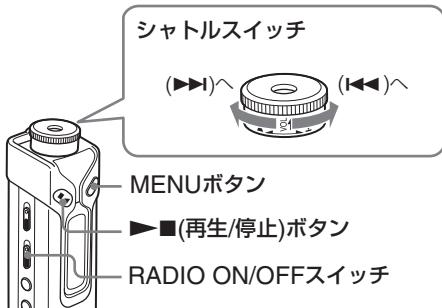
再生中は再グループ化できません (メニュー画面に「REGROUP」が表示されません)。

♪ヒント

再グループ化しても、元のグループに戻らない場合もあります。編集が必要な場合は、本機をパソコンにつないでSonicStage上で編集してください。

メモリーを初期化する (FORMAT)

本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット(初期化)することができます。フォーマットすると、記録されたデータはすべて消去されます。フォーマットする前に内容を確認してください。



1 ラジオを消す。

RADIO ON/OFFスイッチをRADIO OFFの方向にずらします。

2 MENUボタンを押す。

メニュー画面が表示されます。



3 シャトルスイッチを回して 「FORMAT」を選び、►■(再生/ 停止)ボタンを押して決定す る。

- XDM-S990の場合
手順5に進んでください。



- XDM-S990の場合
次の手順に進んでください。



再生中はこの機能を選択できません。

- 4 シャトルスイッチを回して「ドライブ1: ①」または「ドライブ2: ②」を選び、►■(再生/停止)ボタンを押して決定する。
(XDM-S990のみ)



- 5 シャトルスイッチを回して「Y」を選び、►■(再生/停止)ボタンを押して決定する。
「Really?」と表示されます。

- 6 ►■(再生/停止)ボタンを押す。

「FORMATTING」が点滅表示され、初期化が始まります。
初期化が終了すると「COMPLETE」と表示され、手順3の画面に戻ります。

- 7 MENUボタンを押す。
通常の画面に戻ります。

途中でメニュー操作をやめるには

メニュー画面の [RETURN] を選ぶか、MENUボタンを押します。

フォーマット(初期化)するのをやめるには
手順5で「N」を選びます。

ご注意

- 再生中は初期化できません。
(メニュー画面に「FORMAT」が表示されません。)
- メモリの初期化を行うと、本機にインストールされているMP3 File ManagerとMP3ファイルもすべて消去されます。MP3 File Managerを消去してしまった場合、付属のCD-ROMからコピーするか、アイワのオフィシャルホームページからダウンロードして復元することができます。詳しくは、48ページの「MP3 File Managerを使う」をご覧ください。

使用上のご注意

ご注意

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）
- 風呂場など、湿気が多いところ
- ほこりが多いところ
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど
磁気を帯びたものの近く

ヘッドホンについて

付属のヘッドホンをご使用中、肌に合わない
と感じたときは早めに使用を中止して医師ま
たはお客様ご相談センターに相談してください。

お手入れについて

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で
拭いた後、からぶきします。

ヘッドホンプラグのお手入れについて

ヘッドホンプラグが汚れていると雑音や音飛び
の原因になることがあります。常により音で
お聞きいただくために、ヘッドホンの先端のプ
ラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてく
ださい。

ご注意

シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいた
めますので、使わないでください。

万一故障した場合は、内部を開けずに、お買
い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワ
お客様ご相談センターにご相談ください。

故障かな？と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度お調べください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のお問い合わせ窓口までお問い合わせください。

パソコンとの接続については、付属ソフトウェアのオンラインヘルプもご覧ください。

リセットするには

下記のチェックをしても正常に動作しないとき、音が出ないときは、本体の電池を取り外して、再度挿入してください。

こんなときは

本体の操作について

症状	原因／処置
再生音が出ない 雑音が入る	<ul style="list-style-type: none">音量がゼロになっている → 音量を上げてください。(16ページ)ヘッドホンがしっかり差し込まれていない → \cap (ヘッドホン) ジャックにしっかり差し込んでください。(16ページ)ヘッドホンのプラグが汚れている → 乾いた布でプラグの汚れをふきとってください。再生期限のついた曲を再生している → 再生期限の切れた曲は、再生できません。(15ページ)曲が入っていない → 「NO DATA」と表示されているときは、パソコンから音楽データを転送してください。
ボタン操作に反応しない	<ul style="list-style-type: none">HOLDスイッチがONになっている → HOLDスイッチをOFFにしてください。(25ページ)結露している → そのまま約2、3時間おいてください。電池の残量が少ない → 電池を交換してください。(11ページ)
再生音が大きくならない	AVLSが設定されている → AVLS設定を解除してください。(30ページ)
右チャンネルから音が出ない	<ul style="list-style-type: none">ヘッドホンが正しく差し込まれていない → ヘッドホンプラグを奥まで差し込んでください。(16ページ)ヘッドホン延長コードが本機の \cap (ヘッドホン) ジャックまたはヘッドホンコードに正しく接続されていない。 → ヘッドホン延長コードを本機の \cap (ヘッドホン) ジャックまたはヘッドホンコードにしっかり差し込んでください。(16ページ)
再生していたら急に音が止まった	電池が消耗している → 電池を交換してください。(11ページ)

次ページへつづく

故障かな?と思ったら(つづき)

表示窓について

症状	原因／処置
表示窓のバックライトがつかない	LIGHTが「OFF」の設定になっている →メニューで「LIGHT」を「ON」に設定してください。(33ページ)
タイトル欄に「□」と表示される	本機で表示できない文字が使用されている →付属のSonicStageソフトウェアを使って本機で表示可能な別の文字に置き換えてください。

パソコンとの接続や付属ソフトウェアについて

症状	原因／処置
インストールできない	対応のOS以外のOSを使っている →詳しくは別冊の「ソフトウェアインストール・操作ガイド」をご覧ください。
専用USB接続ケーブルでパソコンにつないでも、本機の表示窓に「CONNECT」と表示されない	<ul style="list-style-type: none">• SonicStageの認証を行うために、時間がかかる場合があります。 しばらくお待ちください。• パソコン上で他のアプリケーションが起動している →しばらくしてから、専用USB接続ケーブルを接続し直してください。それでも解決しない場合は、ケーブルを抜いてからパソコンを再起動してください。• 専用USB接続ケーブルが抜けている →専用USB接続ケーブルを差し直してください。• USBハブを使用している →動作の保証外です。パソコンのUSB端子に接続してください。
パソコンに接続したとき、本機がパソコンに認識されない	<ul style="list-style-type: none">• 専用USB接続ケーブルが抜けている →専用USB接続ケーブルを差し直してください。• 本機用のドライバをインストールしていない →本機用のドライバをインストールしてください。本機用のドライバは付属のCD-ROMより「SonicStageソフトウェア」をパソコンにインストールすると自動的にインストールされます。(14ページ)
転送できない	<ul style="list-style-type: none">• 専用USB接続ケーブルがきちんと差し込まれていない →専用USB接続ケーブルをいったん抜いて、差し直してください。• 内蔵フラッシュメモリーの残り容量が不足している →聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。• SonicStageを使って内蔵フラッシュメモリーに401曲以上または401グループ以上転送しようとしている →内蔵フラッシュメモリーに転送できる曲数は、最大で400曲、グループは最大で400グループです。 * XDM-S990の場合、1つのフラッシュメモリーに、それぞれ400曲または400グループ転送できます。

症状	原因／処置
転送できない	<ul style="list-style-type: none"> MP3 File Managerを使って、内蔵フラッシュメモリーに40,001曲以上、または401グループ以上転送しようとしている。 → 内蔵フラッシュメモリーに転送できるMP3ファイルの曲数は、最大で40,000曲、グループは最大で400グループです。*(ひとつのグループに収められる曲数は、最大で100曲です。) * XDM-S990の場合、1つのフラッシュメモリーに、それぞれ最大40,000曲または400グループ転送できます。 再生期間や再生回数などの再生制限のついた曲は、著作権者の意向により本機に転送できないことがあります。それぞれの曲に関する設定内容については、配信者にお尋ねください。
転送できる曲数が少ない (録音できる時間が短い)	<ul style="list-style-type: none"> 本機内の空き容量が、転送しようとした曲の容量よりも少なくなっている → 聞かなくなった曲をパソコンに戻して、空き容量を増やしてください。 もう1つの内蔵フラッシュメモリーに転送してください。 (XDM-S990のみ) 内蔵フラッシュメモリーに音楽以外のデータが入っている → 内蔵フラッシュメモリー内に音楽以外のデータが入っている分、転送できる曲数は減ります。音楽以外のデータをパソコンに移動するなどして、使用できるデータの容量を増やしてください。
パソコンに戻せない	<ul style="list-style-type: none"> 転送したパソコンと異なるパソコンに曲を戻そうとしている → 転送元のパソコン以外には、曲を戻せません。 転送元の曲を削除した → パソコン側の転送元の曲を削除した場合は、曲を戻せません。その曲が本機でも不要の場合は削除してください。
接続中の動作が不安定	<p>USBハブ、またはUSB延長ケーブルを使用している → 動作の保証はできません。付属の専用USB接続ケーブルのみで直接パソコンと接続してください。</p>
パソコンと接続中にパソコンの画面に「機器・メディアの認証処理に失敗しました。」と表示される	<p>パソコンと本機が正しく接続されていない → SonicStageを終了し、付属の専用USB接続ケーブルでの接続を確認した後、再度SonicStageを起動して操作してください。</p>

その他

症状	原因／処置
操作時の確認音が鳴らない	<p>BEEPの設定が「OFF」になっている → メニューで「BEEP」を「ON」にしてください。(32ページ)</p>
本体が温かくなる	使用中に本体が一時的に温かくなることがあります。

故障かな?と思ったら(つづき)

こんな表示が出たら

本体表示窓にエラー表示が出たら、下の表に従ってチェックしてください。

表示	意味	処置
ACCESS	内蔵フラッシュメモリーにアクセス中	アクセスが終わるまでお待ちください。内蔵フラッシュメモリーへデータを転送しているときやフォーマット(初期化)しているときに表示されます。
AVLS	AVLS設定時に、音量が規定値を超えてる。	音量を下げるか、またはAVLS設定を解除してください。(30ページ)
CANNOT PLAY	<ul style="list-style-type: none">本機では再生できないファイル形式である。転送の途中で転送を強制中断した。	再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(43ページ)をご覧ください。
CONNECT	本機がパソコンと接続されている。	エラーではありません。SonicStageを使って曲を転送したり、戻したりできます。ただし、本機を操作することはできません。
ERROR	本機の異常が認識された。	本機をソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにお持ちください。
EXPIRED	<ul style="list-style-type: none">再生期限付きの音楽データを有効期限外に再生しようとしている。再生期限付きの音楽データを再生しようとしているが、本機の時計設定がされていない。本機で対応していない回数制限付きの音楽データを再生しようとしている。	<ul style="list-style-type: none">時計設定をしていない場合は、本機のメニューで日時設定を行ってください。(29ページ)再生できないデータがある場合は、内蔵フラッシュメモリーから削除することができます。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(43ページ)をご覧ください。本機は回数制限付きコンテンツに対応しておりません。詳しくは「回数制限付きの曲の再生について」(15ページ)をご覧ください。
FILE ERROR	<ul style="list-style-type: none">データを読み込めない。データが異常である。	「FILE ERROR」となった曲を削除してください。 詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」(43ページ)をご覧ください。
HOLD	HOLDスイッチがONになっているため、本機の操作ができない。	本機の操作を行う場合は、HOLDスイッチをOFFにしてください。(25ページ)
LOW BATT	電池が消耗している。	電池を交換してください。(11ページ)
MEMORY FULL*	メモリーがいっぱいか、グループがいっぱい(400グループ)です。	曲の削除を行なうか、グループの削除を行なってください。曲の入っていないグループも、1グループとしてカウントされます。空のグループの削除は、SonicStageから行ってください。

表示	意味	処置
MG ERROR	著作権に対して不正なファイルを検出した。	まず、データをパソコンに戻してから、本機で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）してください。詳しくは、「内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには」（43ページ）をご覧ください。
NO DATA	内蔵フラッシュメモリーに音楽データが入っていない。	音楽データが入っていない場合は、付属のSonicStageソフトウェアを使って音楽データを転送してください。

* このエラー表示は、1つの内蔵フラッシュメモリーがいっぱいになると表示されます。（XDM-S990のみ）

内蔵フラッシュメモリーから異常なデータを削除するには

「CANNOT PLAY」、「FILE ERROR」、「EXPIRED」が表示された時は、内蔵フラッシュメモリーの一部または全てのデータに異常があります。

その場合は、以下の方法で再生できないデータを削除してください。

- ① 本機をパソコンに接続し、SonicStageを起動させる。
- ② データの異常の原因がはっきり分かっている場合（再生期限の過ぎたデータ等）は、SonicStageで削除する。
- ③ それでも解決しない場合は、パソコンに接続した状態で、SonicStageの（戻す）をクリックして、パソコンに戻すことの可能な曲は全てパソコンに戻す。
- ④ パソコンからはずして、本機のFORMATメニューの操作で内蔵フラッシュメモリーをフォーマット（初期化）する。（37ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「アイワご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間にについて

当社ではポータブルICオーディオプレーヤーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはソニーサービス窓口、アイワお客様ご相談センターにご相談ください。

主な仕様

最大録音時間

XDM-S900 :

ATRAC3*	ATRAC3plus*
約8時間20分 (132kbps)	約4時間 (256kbps)
約10時間30分 (105kbps)	約17時間10分 (64kbps)
約16時間50分 (66kbps)	約23時間20分 (48kbps)

MP3
約4時間 (256 kbps)
約8時間 (128 kbps)

XDM-S990 :

ATRAC3*	ATRAC3plus*
約16時間40分 (132kbps)	約8時間 (256kbps)
約21時間 (105kbps)	約34時間20分 (64kbps)
約33時間40分 (66kbps)	約46時間40分 (48kbps)

MP3
約8時間 (256 kbps)
約16時間 (128 kbps)

* ATRAC3、ATRAC3plusの最大録音時間は、本機にプリインストールされているMP3 File Managerを消去した場合の時間を表しています。

サンプリング周波数特性

ATRAC3、ATRAC3plus、
MP3:44.1kHz

再生信号圧縮方式 アダプティブトランスマーフォームアコーディング3 (ATRAC3)、
アダプティブトランスマーフォームアコーディング3plus (ATRAC3plus)
MPEG1 オーディオレイヤー3 (MP3):
8~320 kbps、可変ビットレート(VBR)
対応

周波数特性 20~20,000Hz (再生時、単信号測定)

ラジオ(FM)受信周波数

76 - 90 MHz(TV 1 - 3CH)

アンテナ ヘッドホンコードアンテナ

出力端子 ヘッドホン:ステレオミニジャック

S/N比 80dB以上 (ATRAC3 66kbpsを除く)

ダイナミックレンジ 85dB以上 (ATRAC3 66kbpsを除く)

動作温度 5~35°C

電源 単3形アルカリ乾電池 1本

電池持続時間 (連続再生時) ATRAC3形式の場合:約100時間
ATRAC3plus形式の場合:約90時間

MP3形式の場合:約80時間

ラジオ(FM)受信時:約40時間

最大外形寸法	88.6x24.3x24.6mm (幅／高さ／奥行き、最大突起部を含まず)
質量	約37g (電池含まず)
付属品	ヘッドホン (1) 専用USB接続ケーブル (1) キャリングポーチ (1) ネックストラップ (1) ヘッドホン延長コード (1) CD-ROM (1) 取扱説明書 (1) ソフトウェインストール・操作ガイド (1) 保証書 (1) アイワご相談窓口のご案内 (1)

- ドルビー・ラボラトリーズの米国および外国特許に基づく許諾製品。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

用語解説

マジックゲート MagicGate

データの暗号化と、相互認証の2つの技術により著作権を保護する技術。デジタル音楽データの不正なコピーや再生を防ぎます。マジックゲート対応機器とメディアの両方にマジックゲートが搭載されている場合のみ働きます。マジックゲート対応機器とメディアの間で、お互いに「マジックゲートに対応しているか」を確認（認証）し、確認できた場合のみデータを記録できます。データは記録時に暗号化されます。記録されたデータを再生するときも同様に、マジックゲート対応機器とメディアが相互に確認し、確認された場合のみ再生できます。

ご注意

MAGIC GATE は、ソニーが考案する著作権保護の仕組みを表す名称であり、各種メディア間の互換性を保証するものではありません。

オープンエムジー OpenMG

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

ソニックステージ SonicStage

音楽配信サービスや音楽CDのコンテンツをパソコンに取り込んで管理するための著作権保護技術です。パソコンにインストールしたOpenMG対応ソフトウェアで、音楽コンテンツをハードディスクに暗号化して記録し、そのパソコン上での音楽の再生を楽しむことができる一方、インターネットなどへの不正な配信を防止します。また、「マジックゲート」に対応しているので、「マジックゲート」

搭載の端末として認証された機器およびメディアにコンテンツの記録が可能です。

アトラックスリー ATRAC3

「Adaptive Transform Acoustic Coding3」の略。高音質と高圧縮を両立させたオーディオ圧縮技術です。音声データをCDの約1/10に圧縮可能で、メディア容量の小型化が可能です。

アトラックスリープラス ATRAC3plus

「Adaptive Transform Acoustic Coding3plus」の略で、ATRAC3よりも高い圧縮率で、ATRAC3と同程度あるいはさらに高い音質を実現した新しいオーディオ圧縮技術です。

ビットレート

1秒あたりの、情報量を表わす数字のことです。単位はbps (bit per second)。読みかたは、「ビーピーエス」です。例えば、64kbpsは、1秒間に64000bitの情報を持っているということを表わします。この数字が大きい程、音楽を再現するために多くの情報を持っているということになるため、同じ符号化方式 (ATRAC3plusなど) の比較では、一般的に48kbpsよりも64kbpsの方が良い音で楽しめるということになります。
(ATRAC3、MP3等、他の符号化方式の音とは単純な比較はできません。)

エムピースリー MP3

MP3はMPEG Audio Layer-3の略で、国際標準化機構 (ISO) が定めたカラー動画を圧縮・伸張するための標準方式であるMPEG (Motion Picture Experts Group) で定めた音声を圧縮するための規格です。音楽CDのデータの音質はほとんど落とさず、サイズを1/10のサイズに圧縮することができるため汎用性が高く、エンコードやデコードするソフトウェアも簡単に入手することができます。

メニュー一覧

MENUボタンを押してメニュー モードに入り、シャトルスイッチで本体の設定を変えます。

詳しくは()内のページをご覧ください。「>」のある表示は、シャトルスイッチで決定後、次の操作画面が現れます。

液晶の表示 (メニュー モード)	設定内容
REPEAT MODE > □	お好みに合わせてリピートモードが選べます。 (18ページ)
DISPLAY > □ (表示 モード)	お好みに合わせて表示モードの切り替えができます。 (22ページ)
FM SOUND: □	ラジオ(FM)放送受信中、音声をモノラルに切り換えることができます。 (26ページ)
FM AUTO PRESET: □ (FMオートプリセット)	放送局を自動的に記憶させることができます。 (27ページ)
VOL : □ (プリセットボリューム)	あらかじめお好みの音量を設定できます。 (31ページ)
SOUND > □ (デジタルサウンドプリセット)	あらかじめお好みの音質を設定できます。 (24ページ)
AVLS : □ (音量リミットの設定)	快適な音量レベルに設定できます。 (30ページ)
BEEP : □ (確認音の設定)	「ON」または「OFF」に設定できます。 (32ページ)
LIGHT : □ (液晶バックライトの点灯のしかた)	「OFF」：常に消灯 「ON」：ボタン操作後3秒間点灯 (33ページ)

液晶の表示 (メニュー モード)	設定内容
DATE-TIME □ (現在時刻の設定)	年月日表示／12時間時計表示ができます。 (29ページ)
PC CLK : □ (パソコンの内蔵時計に合わせる)	パソコンの内蔵時計に本体の時計を合わせることができます。 (28ページ)
FORMAT > □ (メモリーの初期化)	本機内蔵のフラッシュメモリーのメモリーを初期化できます。 (37ページ)
REGROUP > □ (再グループ化) (XDM-S900のみ)	グループ機能を元に戻します。 (36ページ)
LED: □ (オペレーションランプ設定)	オペレーションランプの点灯/点滅パターンを変更することができます。 (34ページ)
TIMER: □ (タイマー設定)	設定した時間後に、自動的に本機の電源を切ることができます。 (35ページ)
【RETURN】	【RETURN】を選び、▶■(再生／停止)ボタンを押して決定すると、通常画面に戻ります。

□ RADIO ON/OFFスイッチがRADIO ONのときに表示されます。

■ RADIO ON/OFFスイッチがRADIO OFFのときに表示されます。

MP3 File Managerとは

MP3 File Managerは、MP3ファイルをATRAC3またはATRAC3plus形式に変換するSonicStageとは異なり、MP3フォーマットのまま本機に簡単に転送することができるソフトウェアです。

MP3 File Managerは本機にあらかじめインストールされているので、インストールの必要はありません。

ただしMP3 File Managerを使用する前に、必ず付属のCD-ROMからSonicStageをインストールしてください。SonicStageがインストールされていないパソコンでは、本機は認識されません。

SonicStageをインストールしないでMP3 File Managerを使いたいときは、アイワオフィシャルホームページで、本機のドライバファイルをダウンロードして、インストールしてください。
(<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>)

動作環境

- OS: Windows XP Media Center Edition 2005 (XDM-S990のみ)
Windows XP Media Center Edition 2004
Windows XP Professional
Windows XP Home Edition
Windows 2000 Professional
Windows Millennium Edition
Windows 98 Second Edition
- CPU: Pentium II 400MHz以上
- RAM: 64MB以上
- HDD: 5MB以上
- ディスプレイ: ハイカラー(16ビットカラー)以上、800×600ドット以上推奨
- USBポート: USB(従来のUSB1.1対応)

サポート言語について

MP3 File Manager上で表示できる言語は、パソコンにインストールされているOSによって異なります。お使いのパソコンのOSが、表示したい言語に対応しているかどうかをご確認ください。

- 言語によっては、MP3 File Manager上で正しく表示できない場合があります。
- ユーザー定義の文字や特殊な記号は表示されない場合があります。

パソコンから本機にMP3ファイルを転送する

1 本機をパソコンに接続する。

付属の専用USBケーブルの小さいほうのコネクタ部分を本機の専用USBケーブルの接続ジャックに、大きいほうのコネクタ部分をパソコンのUSB端子に差し込みます。本機の表示窓に「CONNECT」と表示されます。



2 パソコンの[マイコンピュータ]-[リムーバブルディスク:]*をクリックする。

* XDM-S990の場合

お使いのパソコンがWindows XP Media Center Edition 2004、Windows XP Media Center Edition、Windows XP ProfessionalまたはHome Editionの場合は[MEMORY_P-AUDIO]と表示されます。

* XDM-S990の場合

「マイコンピュータ」画面内の[リムーバブルディスク:]アイコンのうち、ドライブ文字(アルファベット)の順番が早い方をダブルクリックする。

3 [Esys]フォルダをクリックする。

4 [MP3FileManager.exe]をダブルクリックして、MP3 File Managerを開く。

5 MP3 File Manager画面右上の 転送先リスト(50ページ)から、 転送先の内蔵フラッシュメモ リーを選択。(XDM-S990のみ)

6 本機に転送させたいMP3ファイル をMP3 File Manager画面に ドラッグさせる。

MP3ファイルが入っているフォルダごとドラッグして、本機に転送させることもできます。



画面はXDM-S990の表示例です。

ご注意

- MP3 File Manager起動中は、USBケーブルを抜かないでください。正常に動作しないことがあります。
- パソコンから本機へデータ転送中はアクセスランプがオレンジ色に点滅します。
- アクセスランプが点滅している間はUSBケーブルを抜かないでください。転送中のデータが破壊されることがあります。
- お使いのパソコンがWindows 2000の場合は、Service Pack 3以降をインストールしてください。

- 本機での曲名表示は、ID3タグの情報を優先して表示します。(ID3タグとは、曲名、アーティスト名などの情報をMP3ファイルに追加するときのフォーマットのことです。本機はバージョン1.0/1.1/2.2/2.3/2.4(MP3のみ)に対応しています)
- USBハブ、またはUSB延長ケーブルをご使用の場合の動作保証はいたしかねます。必ず、付属の専用USB接続ケーブルで接続してください。
- 同時に使いになるUSB機器によっては、正常に動作しないことがあります。
- パソコンに接続しているときは、本体の操作はできません。
- パソコンに接続しているときは、内蔵のフラッシュメモリーの内容が、Windowsのエクスプローラでも表示できます。
- 本機では、サンプリング周波数44.1kHz、ビットレートが8~320kbpsのMP3ファイルに対応しています。

MP3 File Managerを消去してしまった場合、付属のCD-ROMを使って復元することができます。

- 本機をパソコンに接続する。
- 付属のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブに入れる。
- CD-ROMドライブを開いて、[Portable IC Audio Player] フォルダを選んで開く。
- XDM-S900: [MP3FileManager1.1] フォルダを選んで開く。
XDM-S990: [MP3FileManager1.2] フォルダを選んで開く。
- [Japanese]のフォルダを選んで開く。
- [MP3FileManager_1.X_Update_JPN.exe]*をダブルクリックする。

インストールが始まります。

画面の指示にしたがって操作してください。

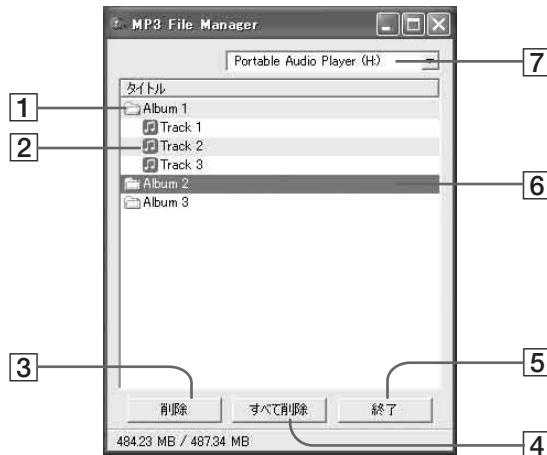
* MP3 File Managerのバージョンは以下のとおりです。

XDM-S900: バージョン1.1

XDM-S990: バージョン1.2

(MP3 File Managerは、アイワオフィシャルホームページでもダウンロードすることができます。(http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/))

MP3 File Managerの表示



画面はXDM-S990の表示例です。

1 アルバムリスト

フォルダをダブルクリックすると、アルバム内にあるすべての曲を表示します。もう一度ダブルクリックすると、元の表示に戻ります。

2 曲のリスト

3 [削除]

クリックすると、選択された曲またはアルバムを削除します。

4 [すべて削除]

クリックすると、すべての曲またはアルバムを削除します。

5 [終了]

クリックすると、MP3 File Managerが終了します。

6 選択されている部分(青い部分)

CTRLキーまたはShiftキーを押して複数の曲やアルバムを選択することもできます。

7 転送先リスト

音楽データを転送する内蔵フラッシュメモリーを選びます。(XDM-S990のみ)

ご注意

SonicStageで転送した音楽ファイルは、MP3 File Managerでは表示されません。また、MP3 File Managerで転送した音楽ファイルは、SonicStageでは表示されません。

ファイルを消去する

本機に転送されたMP3ファイルを曲単位またはアルバム単位で消去することができます。



画面はXDM-S990の表示例です。

- 1 MP3 File Managerを開く。
- 2 内蔵フラッシュメモリーを選ぶ。(XDM-S990のみ)
- 3 消したい曲またはアルバムを選択する。
- 4 をクリックする。

♪ヒント

CTRLキーまたはShiftキーを押して複数の曲やアルバムを選択することもできます。ただし、アルバムと曲を同時に選択することはできません。

曲順を変える

本機に転送されたMP3ファイルの順番を曲単位またはアルバム単位で変えることができます。



画面はXDM-S990の表示例です。

- 1 MP3 File Managerを開く。
- 2 内蔵フラッシュメモリーを選ぶ。(XDM-S990のみ)
- 3 曲順を変えたい曲またはアルバムを選択する。
- 4 移動させたい位置にドラッグする。

索引

五十音順

ア行

- アクセスランプ 12, 14, 48
- 頭出し 17
- 液晶パックライト 33
- エクスプローラ 15, 25
- 音もれ防止 (AVLS) 30
- オペレーションランプ 34
- 音楽CD 8
- 音楽配信サービス (EMDサービス) 8, 15
- 音量 31, 32

力行

- 確認音 (BEEP) 32
- 聞く 16
- グループ 17, 23
- 故障かな? と思ったら 39
- 誤操作防止 (ホールド) 25

サ行

- 再生 16
- 再グループ化 36
- 時刻設定 28, 29
- 初期化 (フォーマット) 37
- シャトルスイッチ 12, 16~22, 24, 26~37
- センテンスリピート 18, 20, 21

タ行

- タイトル 22
- タイマー 35
- ダウンロード 8
- デジタルサウンドプリセット 23
- 転送 8, 14
- 電池 11
- 残量表示 11
- 時計 28, 29
- トラックリピート 18, 19

ハ行

- パソコン 8, 14
- 早送り 17
- 早戻し 17
- ビットレート 46
- 表示窓 13, 19, 42, 43
- 表示モード 22
- フォーマット (初期化) 37
- 付属品 10
- ヘッドホン 10, 16
- ホールド (誤操作防止) 25

マ行

- メニュー一覧 47

ラ行

- ラジオ 26
- リピート回数 21
- リピートモード 18~21

アルファベット順

A、B、C

A-Bリピート	18~20
ATRAC3	46
ATRAC3plus	46
AVLS (音もれ防止)	30
BEEP (確認音)	32
CD (音楽CD)	8
CD-ROM	10、14

D、E、F、G、H、L、M

DATE-TIME	29
EMDサービス (音楽配信サービス)	8
FM	26
FORMAT	37
GROUP	17、23
HOLD	25
LED	34
LIGHT	33
MagicGate	46
MENUボタン	12、18、21~22、24、26~37
MP3	46
MP3 File Manager	48

O、P、R、S

OpenMG	46
PC CLK	28
REGROUP	36
REPEAT MODE	18、21
REPEATボタン	19、20
RETURN	47
SHUF	19
SonicStage	46

U、V、W

USB接続ケーブル	10、14
VOL	16、31、32
WAV形式	8
Windowsエクスプローラ	15、25

お問い合わせ窓口のご案内

本商品についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- ホームページで調べるには ⇒ アイワパーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ
(<http://www.jp.aiwa.com/support/p-audio/>)

本商品に関する最新サポート情報や、よくあるお問合せとその回答をご案内しています。

- 電話・FAXでのお問い合わせは ⇒ アイワお客様ご相談センターへ (下記電話・FAX番号)

- 本機の商品カテゴリーは[オーディオ]の中で選択してください。
- お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

◆セット本体に関するご質問時：

- 型名：
- シリアル番号：本体電池ぶたの裏面に記載されています。
- ご相談内容：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

◆付属のソフトウェアに関するご質問時：

- ソフトウェアのバージョン：
- お使いのパソコン(メーカー名/型名)：
- パソコンにインストールされているOS名：
- メモリ容量/ハードディスクの空き容量：
- CD-ROMドライブの型名/種類(外付けまたは内蔵)：
- エラーメッセージ(エラーメッセージが表示された場合)：

アイワ商品の修理、お取扱い方法、お買い物相談、その他アイワに関するお問い合わせ

アイワホームページ ●<http://www.jp.aiwa.com/>

アイワホームページは、アイワの商品情報とライフスタイルをご提案するホームページです。
「サポート情報」や「よくあるご質問(FAQ)」に関しては、ホームページをご活用ください。

アイワお客様ご相談センター

- ナビダイヤル…………… 0570-00-4680
(全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。)
- 携帯電話・PHSでのご利用は…………… 0466-31-4833
(ナビダイヤルがご利用になれない場合はこちらをご利用ください。)
- FAX…………… 0466-31-4250

受付時間：月～金曜日 9:00～18:00 土・日・祝日 9:00～17:00 *修理に関するお問い合わせはFAXでもお受けしております。

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川 6-7-35